



新十津川望郷会

会報

第二十七号

就任のごあいさつ



新十津川望郷会長

高村 雄 渾

暑さの厳しい折、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る、六月二十日に開催いたしました望郷会総会において、会長に選任されました砂川支部所属の高村でございます。

身の引き締まる気持ちであるとともに、二年間の任期の中で会員の皆様とともに郷土新十津川町の発展に貢献出来ればと考えております。

さて、令和二年に未知のウ

イルスとして私たちの行動を制限した新型コロナウイルスは、私たちの生活を一変させました。望郷会活動につきましても、集まることができない状況の中、望郷会総会は、令和二年度から令和四年度まで書面会議となり、望郷徳富の集いについては、令和二年度から令和五年度まで開催を自粛いたしました。皆様方が直接お会いして、交流する機会が無くなったのは、非常に残念なことでした。

令和五年五月八日に新型コロナウイルスが五類に移行されたことを受け、今年度は、町内視察、望郷徳富の集いなどを五年ぶりに開催し、皆様方の笑顔を間近で見ることができ、望郷会活動が通常に戻っ

たことを実感いたしました。

また、ご参加された皆様におかれましては、懐かしい方々との懇親の場での再会に喜びもひとしおだったことと存じます。

本年六月二十日に開催した総会において、参加者からのご意見として、望郷会員の増加を図るべきとの意見をいただきました。現在、九十二名の会員の皆様がいらっしゃいます。今年度の望郷会総会のご案内に対し、約三割の方から返信がありませんでした。

望郷会は、新十津川町以外に居住する新十津川町出身者並びに縁故者で組織する団体であり、その情報は、会員皆様からの周知が最も効果的と考えています。ぜひ、皆様方のお知り合いで新十津川町にゆかりのある方がいましたら、お誘いくださいますようお願いいたします。

来年度は、望郷会設立五十

周年という歴史的な節目の年となります。内容をどうするか今後検討いたしますが、出来れば会員の皆様からのご提案など、どのようなことでも結構ですので事務局宛にお知らせくだされば大変嬉しく思います。

最終的には、役員会で決定することとなりますが、その検討材料として、皆様方からのご意見をいただければ幸いです。

最後になりますが、本年、町内視察や望郷徳富の集いを開催し、皆様方と直接対面できる交流の場として、大変有意義な時間を過ごすことができました。

このような交流の場がこれからも末永く開催される事を期待して、ふるさと新十津川町の益々のご隆盛をお祈り申し上げますと共に、望郷会の一層の発展に努めて参りますので、会員皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

会報に寄せて



新十津川町長

谷口秀樹

暑中の候、新十津川望郷会員の皆様方におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。また、いつも故郷を想う熱い気持ちで望郷会を支えていただくとともに、郷土新十津川町にご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の四月、町長に就任させていただき、現在、二年目の町政の舵取りを担わせていただいております。町政執行に伴い、望郷会員の皆様の新十津川町に対する温かいご支援やご協力をいただいていることが私の原動力となっております。これからも皆様からの想いをしっかりと受け止め、情

熱をもって、より魅力あるまちづくりに全力投球していきたいと思います。

さて、ここ数年来、世界に蔓延していた新型コロナウイルス感染症がようやく収束に向かい、昨年の五月には五類感染症に移行したことにより、人々の活動も感染症拡大前の活動に戻ってきているところです。

このことに伴い、望郷会における活動も活発を増し、去る六月二十日には望郷会の総会が開催され、新たに高村雄渾様が会長に就任いたしました。前任の川合会長様におかれましては、長きにわたってその豊かな見識と力強いリーダーシップにより望郷会を牽引していただいております。逝去が、惜しくも今年に入りご逝去されております。改めてご冥福をお祈りするとともに、これまでの望郷会に対する貢献の大きさに感謝と敬意を示したいと思えます。川合前会

長様の遺志は必ず、高村新会長様に引き継がれていくことと確信しております。

総会後には、開町一三四年記念式典への参加、町内視察では、デジタル技術を活用した、より快適で便利な生活を目指し、ドローン技術を活用したプロジェクトの説明を受けたとお聞きしました。また、その日の夜には、場所を町内の温泉施設グリーンパークしんとつかわに移し、望郷徳富の集いが開催され、私もつどいに参加させていただきました。会員皆様の新十津川町への熱い想いや懐かしいお話しをお聞きすることができ、和やかに楽しい時間を過ごさせていただきました。

新十津川望郷会は、昭和五十年に初代会長青木金吾さんを選出以来四十九年が経過し、来年は望郷会が誕生して創立五十周年記念を迎える歴史的な年と聞いております。

半世紀もの長い年月、郷土新十津川町に想いを馳せ、その想いを脈々と受け継ぎ繋いでこられた歴史に敬服いたします。私も来年は、ぜひ、望郷会の会員皆様方と創立五十周年という節目を、ご一緒させていただきたいと考えております。このように、これまでたくさんの方々が紡いでこられた誇るべき歴史に、私自身が新たな風となり、子どもから高齢者まで、全ての方が夢と希望を語り合えるまちとなるよう、全力で取り組んで参りますので、今後ともより一層のご支援をお願い申し上げます。

結びに、新十津川望郷会が、益々発展されますことと、会員の皆さまのご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。会報に寄せてのごあいさつとさせていただきます。





新十津川町議会議長

小玉博崇

秀峰。ピンネシリの頂が青空に映え、水田の緑が色濃くなり、新十津川にも夏が到来しました。

新十津川望郷会員の皆様におかれましては、離れた場所においても、今もなお「ふるさと」をこよなく愛し、いつも郷土新十津川町のことを応援していただいていることに対し、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

六月二十日に行われた「開町一三四年記念式典」には、会員の皆様にも本町にお越しいただき、誠にありがとうございました。無事に式典を開催できましたことを安堵するとともに、皆様方の顔を拝

見することができ、大変うれしく思っております。

さて、昨年は、地方統一選により、議員の改選が行われた結果、五名の新人議員を迎え新たな体制が整いました。

この体制の下、本町議会議員が任期四年間において目指すべき議会像について共通認識を持ち、住民の負託に応えるべく、議会の機能を十分に発揮しながら活動することを目的に『議会活動基本計画』を初めて策定し、議会活動の充実、強化を図っているところでございます。

この計画に基づき、多くの町民の意見を集約すべく、議員との意見交換の場として「かたるベサロン」「くるま座ミーティング」と銘打って町内各地で十三回に亘って開催し、延べ百六名の方々にご来場いただきました。

参加した皆様からは、子育て支援の充実、除雪体制の充実、地域活動に関する不安など数多くの声が届けられてお

ります。

私どもと致しましても、その声を真摯に受け止め、町民の皆様からいただいた意見等に関しては、各委員会活動を通じて、町と意見を交わしたり、議会として町に対して要望書を提出したりするなど、微力ながら住民生活の向上に向けた活動を行ってまいりました。

また、本年度は、充実した議会活動を継続していくための環境整備として、議会モニター制度の導入や情報通信機能の活用の検討のほか、災害時等に備えた議会運営体制の整備として議会機能継続計画の策定について、各議員が分担し、推進チームを立ち上げ検討を重ねており、これらのことを早期に実現し、議会運営の更なる活性化を図りたいと考えております。

議会として、そして、新十津川町に生きる者として、目の前の課題を一つ一つ解決していき、着実に時代に対応し

た町づくりを進め、しっかりと故郷を守り育て、そして、未来に向かって夢多き町にしていきたいと思うところでございます。

私たちは、艱難辛苦を乗り越え、今日の新十津川町の礎を築いていただいた先人の方に、常に感謝する気持ちを忘れることなく、時代に合った確な対策を講じつつ、新十津川町が前進することができるよう努めて参ります。今後とも本町への温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、新十津川望郷会が、会員の皆様的心と故郷をつなぐ場として、益々発展されますとともに、会員の皆様のさらなるご活躍、ご家族様のご健勝を心からお祈り申し上げ、会報に寄せての言葉とさせていただきます。



6月20日 望郷会総会開催

令和6年6月20日に、新十津川望郷会総会を開催しました。

役員改選では、会長に砂川支部所属の高村会長が選任されました。

参加者から、望郷会の会員が減少していることを受け、加入者の増加を図るべきとの意見をいただきました。

新十津川町にゆかりのある方でお知り合いがいましたら、お誘いください。

なお、望郷会設立50周年については、役員会で今後協議してまいります。



藤岡副会長あいさつ

会長が不在のため、藤岡副会長が、議事進行を進めました。



高村新会長あいさつ

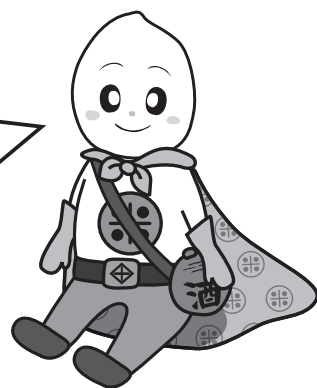
会長に選任された高村会長から就任あいさつをいただきました。



久保田教育長あいさつ

久保田教育長から歓迎のあいさつをいただきました。

遠くからお越しいただき
ありがとうございます！



～札幌、滝川、砂川、深川、関東圏、お住まいの地域で

望郷の仲間とともに交流を深める支部がございます～

興味のある方は、望郷会事務局（新十津川町役場総務課TEL (0125)76-2131）へお問合せ下さい。該当となる地域の事務局をご紹介します。

望郷会の新役員が決まりました。

6月20日に開催した総会で令和6年度からの新役員が決定しました。
任期は、令和6年6月20日から令和8年6月19日までの2年間となっています。
望郷会の発展、ふるさと新十津川町の発展のため、役員の皆様、よろしくお願いいたします。

役 職	支 部	令和6・7年度
会 長	砂 川 支 部	高村雄渾
副会長		谷口次雄
〃	札幌新十津川郷友会	藤岡忠男
〃	深 川 支 部	中井清一
理 事	札幌新十津川郷友会	橋本英正
〃	札幌新十津川郷友会	温井 元
〃	札幌新十津川郷友会	吉田忠夫
〃	札幌新十津川郷友会	平野孝夫
〃	札幌新十津川郷友会	霜越 悟
監 事	滝 川 支 部	丸山 健
〃	札幌新十津川郷友会	上杉朝男



令和6年5月14日 役員会の様子
役員改選のほか予算や事業計画についてご協議いただきました。

望郷徳富の集い

新型コロナウイルスの影響で令和2年度から中止となっていた「望郷徳富の集い」を5年ぶりに開催しました。

10回目を迎えた徳富の集いには、会員の皆様のほか谷口町長など19名が参加し、お酒を酌み交わしながら交流を図りました。

また、関東地区の方々に組織する徳富会、関東十津川郷友会から3名の方が参加していただきました。

集いの中で、参加者ひとりずつから新十津川町の思い出を語っていただき、非常に有意義な時間を過ごしました。



上段左から：上杉朝男監事 橋本英正理事 平野孝夫理事 吉田忠夫理事 温井 元理事
藤原幹雄さん 霜越 悟理事 植松美津夫さん 笹木裕一町総務課主幹
下段左から：水間敏隆さん 鉢呂哲雄さん 西村武久さん 高村雄渾会長 谷口秀樹町長
藤岡忠男副会長 小川洋子さん 西村りえ子さん 小川寛子さん



新十津川町の思い出を語っていただきました。



谷口町長あいさつ

6月20日 その他の行事ご紹介

開町134年記念式典

奈良県福谷副知事、十津川村小山手村長など多くの来賓の方にご参加いただきました。式典の締めとして、高村会長による万歳三唱が行われました。



奈良県福谷副知事



十津川村小山手村長



高村会長万歳三唱

昼食会

令和4年度から開町記念式典終了後に開催されていた合同懇親会を行わないこととしたことから、望郷会による昼食会をサンヒルズ・サライで開催しました。



町内視察

5年ぶりに町内視察も復活しました。町が進めるドローンのまちプロジェクトや世界的な彫刻家五十嵐威暢さんのアトリエ「かぜのび」を見学しました。



ドローンのまちプロジェクト視察



五十嵐威暢さんアトリエかぜのび視察

新十津川町の人口

望郷徳富の集いの時に、谷口町長より新十津川町の人口について、説明がありました。社会増減の視点から、新十津川町の人口について、詳細をご説明します。

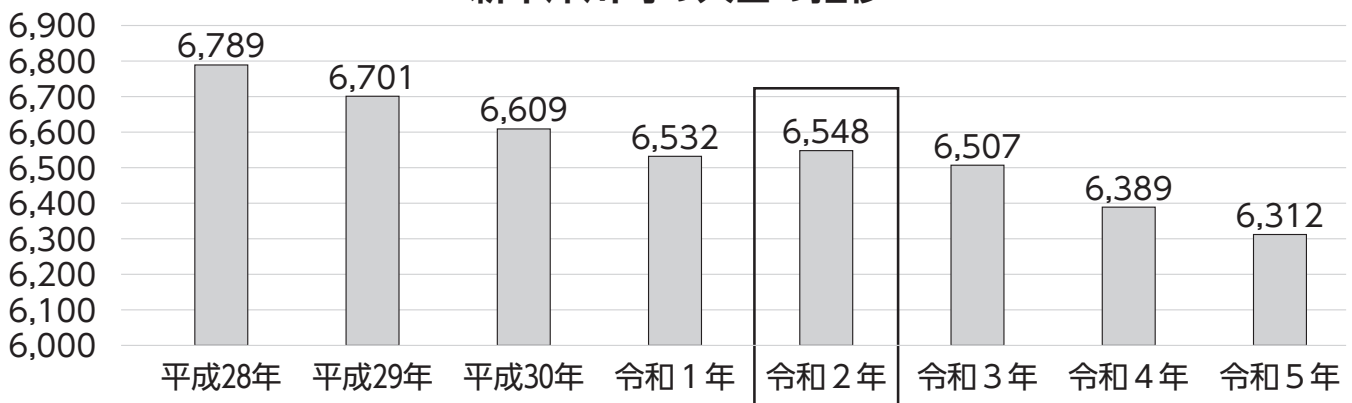
新十津川町の人口は、昭和30年の16,199人をピークに減少を続け、昭和50年には、9,527人と1万人の大台を割るに至りました。

その後、減少率は、やや鈍化したものの、その傾向は変わらず、人口減少は進んでいます。

この人口減少を抑制するため、新十津川町では、平成27年度を初年度とするまち・ひと・しごと創生総合戦略において、「子育て支援と教育を核とした子どもの笑顔があふれるまち」を町の目指すべき姿として、人口減少の抑制を図ってきました。その効果として、令和元年から令和3年まで、令和5年において、転入者数が転出者数を上回る社会増を達成しました。

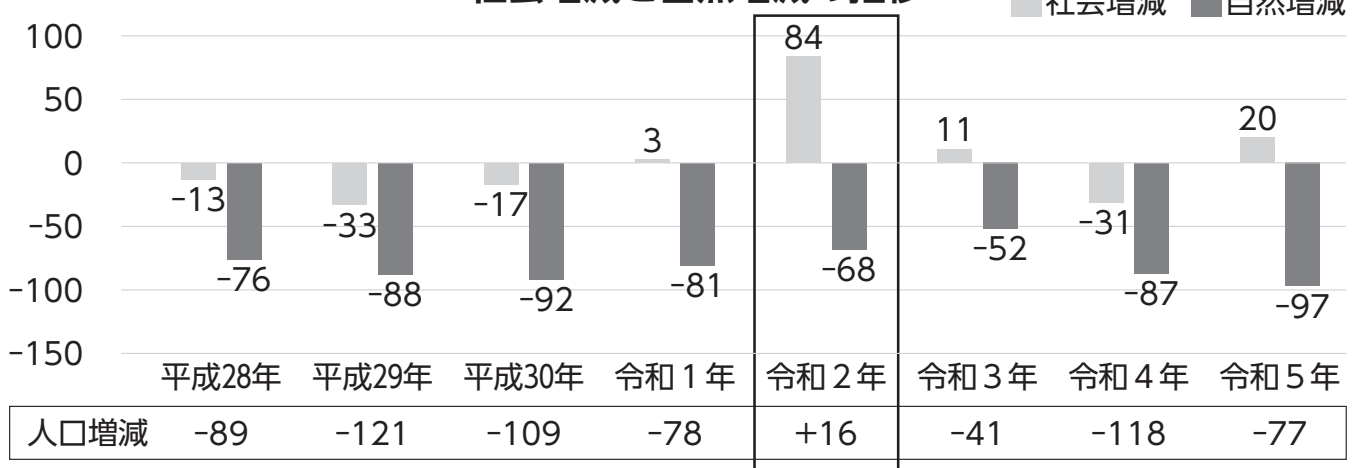
さらに、令和2年には、人口増となりました。

新十津川町の人口の推移



若い世帯や子育て世帯の転入が顕著に多いことから、町が実施する子育て支援や定住促進助成により新十津川町が住みたいまちとして選ばれていることがわかります。

社会増減と自然増減の推移



なお、過去5年間の中空知5市5町の人口推移は、次のとおりです。

市町村別人口

人口は12月31日現在

市町名	年	社会増減				自然増減				その他	総計		人口
		転入	転出	増減	率	出生	死亡	増減	率		増減	率	
新十津川町	R01	235	232	3	0.0%	26	107	-81	-1.2%	1	-77	-1.2%	6,532
	R02	251	167	84	1.3%	27	95	-68	-1.0%	0	16	0.2%	6,548
	R03	210	199	11	0.2%	41	93	-52	-0.8%	0	-41	-0.6%	6,507
	R04	159	190	-31	-0.5%	25	112	-87	-1.3%	0	-118	-1.8%	6,389
	R05	218	198	20	0.3%	26	123	-97	-1.5%	0	-77	-1.2%	6,312
滝川市	R01	1,876	2,033	-157	-0.4%	235	589	-354	-0.9%	7	-504	-1.2%	39,861
	R02	1,651	1,903	-252	-0.6%	215	578	-363	-0.9%	18	-597	-1.5%	39,264
	R03	1,773	1,937	-164	-0.4%	234	565	-331	-0.8%	11	-484	-1.2%	38,780
	R04	1,636	1,850	-214	-0.5%	170	685	-515	-1.3%	11	-718	-1.8%	38,062
	R05	1,632	1,932	-300	-0.8%	168	627	-459	-1.2%	6	-753	-2.0%	37,309
砂川市	R01	605	725	-120	-0.7%	74	243	-169	-1.0%	0	-289	-1.7%	16,848
	R02	529	649	-120	-0.7%	73	300	-227	-1.3%	4	-343	-2.0%	16,505
	R03	544	690	-146	-0.9%	74	274	-200	-1.2%	10	-336	-2.0%	16,169
	R04	585	656	-71	-0.4%	84	285	-201	-1.2%	1	-271	-1.6%	15,909
	R05	553	663	-110	-0.7%	52	334	-282	-1.8%	3	-389	-2.4%	15,520
芦別市	R01	298	509	-211	-1.5%	55	275	-220	-1.6%	0	-431	-3.2%	13,204
	R02	286	478	-192	-1.5%	40	281	-241	-1.8%	3	-430	-3.3%	12,774
	R03	276	381	-105	-0.8%	41	282	-241	-1.9%	2	-344	-2.8%	12,430
	R04	287	435	-148	-1.2%	33	340	-307	-2.5%	1	-454	-3.8%	11,976
	R05	324	445	-121	-1.0%	34	322	-288	-2.3%	4	-405	-3.3%	11,571
赤平市	R01	266	364	-98	-1.0%	31	211	-180	-1.8%	-2	-280	-2.7%	9,906
	R02	242	301	-59	-0.6%	25	229	-204	-2.1%	-1	-264	-2.7%	9,642
	R03	210	274	-64	-0.6%	26	237	-211	-2.0%	1	-274	-2.7%	9,368
	R04	242	329	-87	-0.9%	27	298	-271	-2.7%	-2	-360	-3.6%	9,008
	R05	250	304	-54	-0.6%	30	241	-211	-2.3%	-2	-267	-3.0%	8,741
奈井江町	R01	171	180	-9	-0.2%	23	109	-86	-1.6%	-5	-100	-1.8%	5,335
	R02	155	190	-35	-0.7%	21	87	-66	-1.2%	1	-100	-1.9%	5,235
	R03	134	202	-68	-1.3%	18	95	-77	-1.4%	0	-145	-2.7%	5,090
	R04	184	201	-17	-0.3%	15	123	-108	-2.0%	1	-124	-2.3%	4,966
	R05	123	192	-69	-1.4%	21	100	-79	-1.6%	1	-147	-3.0%	4,819
歌志内市	R01	74	160	-86	-2.6%	12	71	-59	-1.8%	0	-145	-4.4%	3,130
	R02	54	104	-50	-1.6%	6	67	-61	-1.9%	0	-111	-3.5%	3,019
	R03	96	123	-27	-0.9%	6	82	-76	-2.4%	0	-103	-3.3%	2,916
	R04	100	140	-40	-1.3%	4	91	-87	-2.9%	1	-126	-4.2%	2,790
	R05	102	153	-51	-1.8%	14	83	-69	-2.5%	-2	-122	-4.4%	2,668
上砂川町	R01	78	123	-45	-1.5%	9	72	-63	-2.0%	-5	-113	-3.8%	2,874
	R02	74	89	-15	-0.5%	11	69	-58	-2.0%	0	-73	-2.5%	2,801
	R03	66	96	-30	-1.0%	10	81	-71	-2.5%	-2	-103	-3.6%	2,698
	R04	82	128	-46	-1.6%	15	86	-71	-2.5%	-3	-120	-4.3%	2,578
	R05	70	116	-46	-1.8%	2	72	-70	-2.7%	-3	-119	-4.6%	2,459
浦臼町	R01	37	76	-39	-2.1%	7	27	-20	-1.1%	0	-59	-3.2%	1,785
	R02	57	70	-13	-0.7%	7	30	-23	-1.3%	0	-36	-2.0%	1,749
	R03	43	73	-30	-1.7%	11	38	-27	-1.5%	0	-57	-3.2%	1,692
	R04	35	55	-20	-1.1%	8	31	-23	-1.3%	2	-41	-2.3%	1,651
	R05	43	59	-16	-1.0%	7	39	-32	-1.9%	2	-46	-2.8%	1,605
雨竜町	R01	43	88	-45	-1.9%	13	49	-36	-1.5%	0	-81	-3.4%	2,323
	R02	54	77	-23	-1.0%	4	45	-41	-1.8%	-1	-65	-2.8%	2,258
	R03	50	64	-14	-0.6%	5	35	-30	-1.3%	0	-44	-1.9%	2,214
	R04	61	84	-23	-1.0%	7	44	-37	-1.6%	0	-60	-2.7%	2,154
	R05	57	65	-8	-0.4%	8	45	-37	-1.7%	0	-45	-2.1%	2,109

新十津川町トピックス

～まちの出来事～



令和5年7月28日

応援大使さだまさしさん来町

新十津川町の応援大使であるさだまさしさんが新十津川町に初来町されました。

令和元年の就任以降、コロナ禍で実現できなかった来町がNHKの番組「今夜も生でさだまさし」の生放送収録・放映という新十津川町が全国にPRされる最高の形で実現しました。

令和5年11月21日

ファイターズ選手来町

日本ハムファイターズの万波選手と矢澤選手が新十津川小学校を訪問しました。

直接児童と対面することはできませんでしたが、ボールやグッズにサインをいただき、児童に向けたビデオレターの撮影にもご協力いただきました。



令和6年1月12日

ドローンのまちづくり連携協定

KDDIスマートドローン(株)、(株)エアロネクスト、(株)ACSL、(株)電通北海道の4者と「ドローンのまちづくり」に関する連携協定を締結しました。

あわせて、道内初進出となる「KDDIスマートドローンアカデミー新十津川校」の開校式も開催されました。

令和6年3月22日

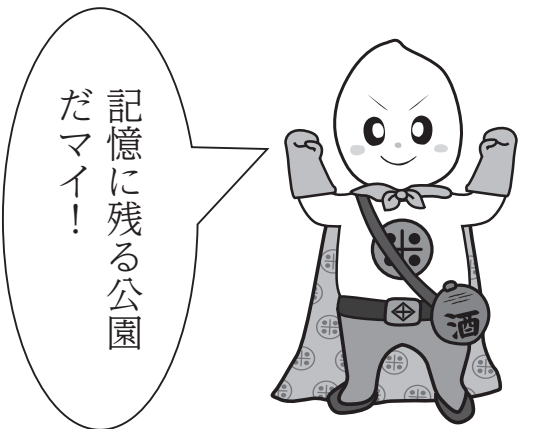
明治安田生命との連携協定

明治安田生命保険相互会社と包括連携協定を締結しました。

健康づくりや子育て支援、スポーツ振興など様々な分野で連携、協力していきます。



駅跡地さくら公園 供用を開始しました!



令和五年十月に、駅跡地さくら公園が供用を開始しました。

駅跡地さくら公園は、令和二年四月十七日に最終運行、五月六日に惜しまれつつ営業廃止となった札沼線新十津川駅があったことを記憶として残すために、駅のホーム、線路の一部を保存した公園で、約四百メートルにわたるさくら並木や散策の森がある公園です。

世界的な彫刻家、五十嵐威暢先生が製作した駅を象徴するモニュメントを設置しています。



駅跡地さくら公園全体



保存した線路の一部

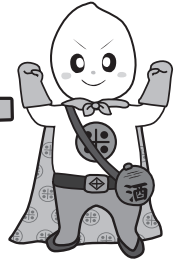


モニュメント(テルミヌスの朝食)



散策の森

元気いっぱい!!しんとつかわっ子



剣道



新中剣道部が全国大会に出場し、個人戦でベスト32位、団体戦でベスト8位の入賞を果たし、町長賞を受賞しました。



新十津川尚武会の中学生が、はまなす国体記念大会で2年連続優勝を果たしました。



第46回全国スポーツ少年団剣道交流大会に高橋一絆さんが出場しました。



全国スポーツ少年団剣道交流大会で小林愛依さんと高橋一絆さんが個人として最高成績となるベスト8入りを果たしました。

新十津川農業高校



札幌市で開催されたガーデニング甲子園で見事準大賞を受賞しました。



幅広い知識を競う農業鑑定競技などを行う農業クラブ全国大会に出場しました。



アルテミス雨竜に所属する小玉陽葵さんと高桑爽さんが小学生バレーボールの北北海道大会に出場しました。



バドミントン北空知予選大会(小学生ABC大会)を勝ち上がった賀川龍力さんが北北海道大会に出場しました。



千歳市で行われた全農杯日本卓球選手権(カブの部)で勝ち上がった加藤祐貴さんが兵庫県神戸市で行われた全国大会に出場しました。



一輪車チーム「輪来UCそらち」が千葉県で開催された一輪車演技会のジュニアシングル小学4年生以上の部で優勝しました。



北海道子どもかるた大会の空知地区予選で準優勝した生徒3人が全道大会の中学生の部に出場しました。



町内のピアノ教室に通う生徒4人がピアノコンクール全国大会に出場し、目標としていた金賞を受賞しました。



空知地区吹奏楽コンクールで金賞を受賞した新中吹奏楽部が、札幌市で行われた全道大会に出場しました。



「広報しんとつかわ」の購読をはじめませんか？

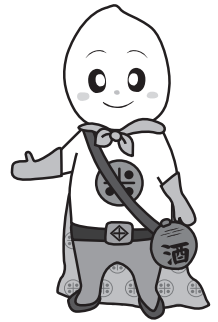
毎月15日に発行している町広報誌「広報しんとつかわ」の購読をはじめませんか？

「広報しんとつかわ」は、主要な町政課題や政策、町の新しい動きなどを特集するとともに、町民生活に密着した生活情報、議会情報のほか、まちの出来事、活躍している人や団体の紹介など、様々な「新十津川の情報」を掲載しています。

購読料：年間 1,344円（送料込 4月号から翌年3月号まで）

購読を希望される方は・・・

- 1 新十津川望郷会事務局へご連絡ください。連絡いただくのは、氏名、住所、電話番号です。
- 2 振込手数料のかからない振込用紙を送付いたします。
- 3 振込が確認できましたら、4月号から振込いただいた月の号までまとめて郵送します。
- 4 翌月から毎月号を郵送します。
- 5 翌年4月にその年の購読確認をさせていただきます。



《名刺をつくりませんか？》

望郷会PR事業の一環として、会員の勧誘や日ごろのお仕事で新十津川町をPRしていただくため、町の風景や建物を入れたオリジナル台紙を活用し、望郷会員の希望者の方に名刺をお作りします。名刺は、1種類100枚単位とし、会の予算で作成しますので、ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

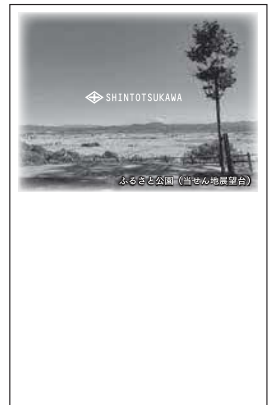
【名刺台紙の種類もお選びいただけます】



△新十津川町観光PRキャラクター
とつかわこめぞー



△新十津川町役場庁舎



△ふるさと公園
当せん地展望台

編集後記

新十津川望郷会会報第二十七号を発刊するにあたり、役員並びに会員の皆様にはさまざまなご協力を賜り、心からお礼申し上げます。今後は、よりよい会報とするために、会員の皆様から多くのご投稿をお待ちしております。
（投稿される方には原稿用紙を送付させていただきますので、事務局までお電話等でご連絡くださいますようお願い申し上げます。）

新十津川望郷会会報

第二十七号

令和六年七月三十一日発行

発行 新十津川望郷会

〒073-1103

新十津川町字中央三〇一番地一

新十津川町役場内

事務局長（新十津川町副町長）

寺田 佳正

電話〇一二五―七六一―二一三一

印刷 (株)須田製版 滝川営業所